

## ✧ 海外ニュース ✧

アメリカ 2021年3月3日 WardsAuto

### ■ モビリティの専門家が、スマートシティへの自律走行車両以外の進入を禁止すべきと主張

Mobility Expert : Ban Non-Autonomous Vehicles From Smart Cities

これは、地図情報大手 HERE 社の南北アメリカ地域自動車・産業向け営業部門責任者である Rumery 氏が提案したものだ。この提案が実現すると、人間が運転する車両、トラック、乗用車、オートバイ、自転車、さらには歩行者でさえ、都市の高速道路インフラへの立ち入りが禁止される可能性がある。

ドイツ 2021年3月9日 Spiegel オンライン版

### ■ 在宅勤務が広まっても、規制緩和後にすぐまた渋滞が発生

Trotz Homeoffice-Trend - Lockerungen bringen Staus schnell zurück

2020年、ドイツのドライバーは渋滞で26時間を費やしたことが、Inrix社が本日公表した交通データの分析で明らかになった。前年は46時間で、倍に近い数値だった。

世界的に見ると、ブカレストの134時間が最長で、前年トップのコロンビア首都・ボゴタがそのすぐ後に続く(133時間)。以下は、ニューヨーク(100時間)、モスクワ(100時間)、フィラデルフィア(94時間)となった。

コロナによるロックダウンが始まった2020年4月には、ドイツの交通量は急速に減少した。分析によると、いくつかの都市で市街地へ向かう交通量が2/3まで減っている。夏の間には、コロナ前のレベルに近づいた。

スペイン 2021年3月10日 Abertis

### ■ アベルティス、2020会計年度を締めくくる 国際的な成長と新型コロナウイルスの影響が特徴

Abertis cierra un ejercicio 2020 marcado por el crecimiento internacional y los efectos del COVID-19

アベルティスは2020年会計年度を終えたが、新型コロナウイルスによるパンデミックの影響もさることながら、国際的な成長によっても特徴づけられた年となった。この1年の間に、米国とメキシコでの2件の大規模な買収が完了した。これは当社が、将来の確固たる見通しと長いコンセッション期間を備えた新しい資産を組み込み、成長していく力があることを示している。

イギリス 2021年3月10日 The Engineers

### ■ 曲げ加工をしたガードレールが車の汚染物質を車道に留める

Curved barriers help confine traffic pollution to roads

インペリアル・カレッジ・ロンドンの研究チームが、気流モデリング技術を用いて道路沿いの微粒子状物質の動きを研究し、車道に隣接する歩道で歩行者への影響を最小限に抑えるソリューションを開発した。ガードレールに曲げ加工を行うことで、より効果的に汚染物質を分散させ道路に跳ね返し、歩道の大気質を安価かつ非常に迅速に改善するものである。

ドイツ 2021年3月12日 Verkehrs Rundschau オンライン版

### ■ グリーン水素をコルドバからカールスルーエへ輸送

Grünen Wasserstoff von Córdoba nach Karlsruhe bringen

バーデン＝ヴュルテンベルク州は、スペインで製造したグリーン水素をドイツに輸送するプロジェクトを支援

する。この計画中のプロジェクトでは、スペインのコルドバで太陽光発電を用いて電力と水素を生産する。さらに水素をドイツへ輸送するため、さまざまな手法をテストして比較する。50%は圧縮状態（ガス状）で、50%はメタノールに変換して液状とし、トラックまたは電車によって輸送する。プロジェクトの規模は約1億5000万ユーロとみなされている。

アメリカ 2021年3月12日 Washington Post

### ■ オレゴン州とユタ州が一部のドライバーを対象に対距離課金を実施、他の州も試験を追随か

Two states tax some drivers by the mile. Many more want to give it a try.

連邦議会で超党派の支持を得ており、ブティジェッジ運輸長官はこれを受け入れる態度を示している。連邦政府は、対距離課金制導入を模索している州のプロジェクトを支援するために、数千万ドル規模の助成金を交付した。

ドイツ 2021年3月15日 Frankfurter Allgemeine Zeitung オンライン版

### ■ VW がヨーロッパ内に6カ所のバッテリー用「巨大工場」を建設

VW baut sechs "Gigafabriken" für Batteriezellen in Europa

フォルクスワーゲンは、2030年までに欧州6カ所で、巨大なバッテリー製造工場の建設を計画している。VWは、バッテリーの大量生産によりコストを下げ安定供給を行うことで、電気自動車を入手しやすいようにしていく。同社によると、2030年までにグループ全体の電気自動車の80%ほどに新型バッテリーを採用する予定で、最大50%のコストが削減されるという。

スペイン 2021年3月15日 Cinco Días オンライン版

### ■ フェロビアル、ジョージア州（米国）で1億9200万ユーロの工事を受注

Ferrovial crece en Georgia (EE UU) con una obra de 192 millones

フェロビアルの米国の子会社である建設会社ウェバーは、2億2900万ドル（1億9200万ユーロ）でアメリカの州間高速道路16号線および75号線の一部区間の改良契約を落札した。メイコン市（米国ジョージア州）で行われる工事は、ジョージア州運輸局が推進する。

スペイン 2021年3月17日 Abertis

### ■ イーモーヴィス社の『モビリティ・チャレンジ 2025』、44カ国から100社を超えるスタートアップ企業が参加

Más de 100 start-ups de 44 países participan en el Mobility Challenge 2025 de Emovis

アベルティスグループ企業で、料金徴収技術を専門とするイーモーヴィス社は、『モビリティ・チャレンジ 2025』の開催を告知したところ、14種の業界と44の国からスタートアップ企業108社がエントリーしたと発表した。募集は3部門であり、未来の道路交通とインフラの関わり合い、道路交通による新たな顧客体験、ビッグデータ解析による道路交通トレンドの活用に関して提案を行うものである。受賞企業は1万ユーロの賞金が授与され、イーモーヴィス社のグローバル販売網を利用できる。

スペイン 2021年3月18日 運輸・移動・都市政策省

### ■ 運輸・移動・都市政策省（Mitma）、2+1車線道路に関する基準をスペインで初めて承認

Mitma aprueba la primera norma española sobre carreteras 2+1

運輸・移動・都市政策省（Mitma）は、2+1車線道路に関するスペイン最初の基準を承認した。2+1車線

道路とは、片側2車線の有料高速道路や自動車専用道路と、1車線の一般道路を組み合わせたような道路だ。

イタリア 2021年3月18日 *avvenire*

### ■ インフラと輸送のためのデジタル技術開発に特化した Movyon 社を設立

INNOVAZIONE : NASCE MOVYON, IL PRIMO OPERATORE TECNOLOGICO PER LE NUOVE FORME DI MOBILITA' AUTOSTRADALE E URBANA

Autostrade per l'Italia は、スマートロード技術、インフラ監視のための AI プラットフォームまで、インフラと輸送のためのデジタル技術開発に特化したスタートアップ企業の Movyon 社を設立した。Autostrade Tech から発展的に組織改編した Movyon は、技術革新のために1億ユーロを投資し、今後3年間で従業員数を倍増させる計画である。現在、工学、技術に携わる150人以上の専門家が所属している。ロベルト・トマシ CEO は、「われわれは、技術とデジタルの革新、電動モビリティの開発と持続可能なビジョンに基づいた Autostrade per l'Italia の変革計画を実施しています」と述べている。

アメリカ 2021年3月19日 *Sun-Sentinel*

### ■ 海面上昇による大問題に直面するフロリダの道路に対して、州政府の対策は間に合うか

Miles of Florida roads face 'major problem' from sea rise. Is state moving fast enough?

交通省が2018年に行った調査によると、今世紀半ばまでに海面が60cm上昇すると予想されているが、州内で特に交通量の多い高速道路の5%強、距離にして400km超を危険にさらす可能性があるという。大した数字には思えないかもしれないが、これらの高速道路を防護するだけでも数十億ドルはかかる。

イタリア 2021年3月25日 イタリア・アウトストラデー社

### ■ 120万ユーロの道路網の強化・拡充事業の入札

AL VIA BANDI PER 1,2 MILIARDI DI EURO IN ATTIVITA' DI POTENZIAMENTO DELLA RETE

高速道路の建造物を2080年まで最適な状態に保つために、ロベルト・トマーシ CEO が立ち上げた事業計画に従い、2038年までに215億ユーロをかけてインフラ網の最新化を進めています。本計画の一環として、ガードレールとトンネルという2種類の道路網上の設備に関して、合計12億ユーロの入札2件を新たに募集します。

ドイツ (イタリア) 2021年3月26日 *Verkehrsrundschau* オンライン版

### ■ 通行料徴収システム運営会社のテレパス、ブルガリアに進出

Mautsystembetreiber Telepass expandiert nach Bulgarien

同社のデバイス『テレパス SAT』が、ブルガリアの3,115kmにわたる高速道路網でトラックの通行料徴収に使われる。これにより、テレパス社がヨーロッパで完全電子式トラック用徴収システムを提供する国は14カ国になり、今後ヨーロッパのすべての国に進出することを計画していると述べた。現在、同社は35%の市場シェアを有し、1,000万個のデバイスを販売しており、徴収システム分野でヨーロッパを主導する地位にある。

イタリア 2021年3月26日 イタリア消費者連合会

### ■ 独占禁止違反でイタリア・アウトストラデー社に500万ユーロの罰金

ANTITRUST : multa da 5 milioni ad Autostrade per l' Italia

イタリア消費者連合会のマッシミリアーノ・ドナ会長は、イタリア・アウトストラデー社に対して不公正な商

慣習があり独占禁止法違反だとして 500 万ユーロの罰金が科されたことについてコメントした。

「ドライバーが移動を妨げられたままである場合、ドライバーは支払った通行料の全額の返金を受ける権利があるだけでなく、最も深刻な場合、ドライバーが起り得る遅延について知らされていない場合、ドライバーには補償を受ける権利も有します。一方、数カ月にわたって道路で工事が行われているために時速 80 km での移動を余儀なくされた場合は、それに応じて料金を調整する必要があります」

ドイツ 2021 年 3 月 29 日 ドイツ交通・デジタルインフラ省

### ■ 連邦交通省、3 件の AI モビリティプロジェクトを 1,100 万ユーロ超で支援

BMVI fördert drei KI-Mobilitätsprojekte mit über 11 Millionen Euro

1 件目の『AI レスキュー』プロジェクトでは、「ラウジッツ健康モデル地域」を例に、救急活動で AI を利用するための実証実験としてシミュレーションを開発するとともに、現在の政治・経済・法的な枠組みを分析している。本プロジェクトでは、AI によって救急活動におけるモビリティを改善する具体的な可能性を明らかにしている。

2 件目の『AK-KII (AI によるインフラ監視のための個別対応マップ)』プロジェクトでは、センサーなどにより自動で継続的に記録されるインフラ監視を実検する。

3 件目の『KeI ライド』プロジェクトでは、自動のオンデマンド相乗りサービスを目指し、公共交通網に組み入れて天候にかかわらず運行するようにする。

ドイツ 2021 年 3 月 30 日 ドイツ交通・デジタルインフラ省

### ■ 外出先での充電インフラに 3 億ユーロ

300 Millionen Euro für die Ladeinfrastruktur vor Ort

連邦交通省は新たな支援プログラム『外出先での充電インフラ』を開始し、3 億ユーロの追加支出で充電スタンドの拡充を加速させる。ショイアー連邦交通相は「スーパー、ホテル、レストラン、プール、運動場といった人々が日常で使用する『外出先』に充電インフラを建設していきます」と語った。特に小売店、宿泊業、小規模の市営企業、地方公共団体に対して申請が呼びかけられている。プログラムでは、費用の最大 80% を支援し、先着順で受け付ける。

アメリカ 2021 年 3 月 30 日 Traffic Technology Today

### ■ 居眠り運転を監視し、禁止する法律を制定するプロジェクトがヨーロッパで進行中

European project underway to monitor and legislate against driver drowsiness

英国交通研究所 (TRL) は、欧州委員会 (EC) と協力して、居眠り運転警告 (DDAW) システムに関する重要な規制の策定に向けて作業中である。眠気のレベルを監視し、これ以上運転を続けると危険なレベルになると警告を発するものだ。2022 年 7 月までに全ての新車への DDAW システムの装備義務化を目指している。

イギリス (アメリカ) 2021 年 3 月 31 日 Reuters

### ■ バイデン大統領、インフラパッケージによるアメリカ経済再構築の取り組みを始動

Biden kicks off effort to reshape U.S. economy with infrastructure package

大統領は、約 2 兆ドルのパッケージにより、米国経済の劇的でより永続的な方向転換を呼びかける。

この計画には、道路、橋梁、高速道路、港湾など、国のインフラを再構築するための 6,210 億ドルが含まれ

る。また 2030 年までに全米に充電網を整備する目標を設定しており、電気自動車市場に向けた 1,740 億ドルという歴史的な額の投資も含まれる。

アメリカ 2021 年 4 月 7 日 Jackson Hole News & Guide

### ■ ワイオミング州が道路の検証や点検にドローンを導入

State's new drone fleet to help with investigations, inspections

連邦政府からイノベーション関連の助成金を得て、ワイオミング州交通省と州高速道路警備隊は、州全土でドローン計画を始動させた。

高速道路での検証や点検にドローンを飛行させることで現場を撮影し、調査は他の場所で続けることができる。調査官が証拠を測定・収集する間、道路を何時間も閉鎖する必要はなくなる。ドローンは雪崩関連の高速道路作業にも使用される予定だ。

イギリス (イタリア) 2021 年 4 月 8 日 Reuters

### ■ ACS がアトランティアの高速道路部門の大規模な株式購入を提案

ACS offers to buy large stake in Atlantia's motorway unit

スペインのインフラグループ ACS が、イタリアのアトランティアに、高速道路部門の大規模な株式購入を提案する手紙を送ったことを、アトランティアに投資している TCI が明らかにした。

「ACS の提案を歓迎します。これはイタリア預託貸付公庫 (CDP) らの提示内容よりも、はるかに優れています」と、TCI のパートナーの 1 人は語った。

韓国 2021 年 4 月 8 日 亜洲経済

### ■ 高速道路運営会社が AI ベースのトラック監視システムの実験の規模を拡大

Expressway operators to scale up test of AI-based truck-monitoring system

韓国道路公社は、人工知能で過積載車両を監視検知するシステムの実証実験の規模を拡大する意向を発表した。2024 年までに全国的な監視網を構築することが最終目標である。

同社によると、システム活用によって監視員の作業負荷を 85% 削減し、違反摘発件数が 470% 増加したとのことである。

フランス 2021 年 4 月 9 日 APRR

### ■ APRR は環境にやさしい革新的な舗装材を試行

Innovation : APRR teste les revêtements éco-conçus

2020 年末、エファージュ道路会社は、アイン県にある高速道路 A40 号線の 2 車線の改良工事で、環境に優しい舗装材 Biophalt<sup>®</sup> を採用した。この舗装材は、既供用路線で切削したアスファルト混合物の粉砕物を骨材の約 40% 使用し、結合材には松材および製紙業界の副産物である植物由来成分の松脂を使用しており、新たに作るアスファルト混合物の加熱温度を 30℃ 下げることが可能にする。これにより、新しい舗装材の使用量を削減できるだけでなく、アスファルト混合物の加熱に伴う CO<sub>2</sub> 排出量の削減が可能になった。「エファージュはすでに Biophalt<sup>®</sup> を自転車道や県道には使用していますが、より条件の厳しい道路でこの舗装方法を評価することが大切です。特に輸送用の大型トラックで試すことがより重要です」